

株主の皆様へ

フジ・メディア・ホールディングス レポート

第73期 中間報告書

平成25年4月1日から平成25年9月30日まで

INTERVIEW

太田英昭社長が語る

強靭なメディアグループとして
大いなる飛躍を目指す

TOPICS



55年目、目の色 変えます。フジテレビ

特集 新風を巻き起こすグループの横顔

| ウェディングプロデュース会社「ストーリア」

| 「めちゃイケSA×EXPASA足柄」が誕生！



FUJI MEDIA HOLDINGS, INC.

証券コード：4676

ごあいさつ

メディア・コンテンツ産業のリーディングカンパニーとして

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

(株)フジ・メディア・ホールディングスは、認定放送持株会社となり6期目を迎えました。放送の公共的使命と社会的責任を常に認識し、視聴者・利用者の皆様に信頼され広く長く支持される上質なソフト・コンテンツの制作・提供を目指してまいりました。その一方で放送分野にとどまらず、生活情報・都市開発などのグループ事業におきましても人と人を繋げることこそがメディアであるととらえ、グループの事業分野を拡大してまいりました。

さて、当期の業績ですが、放送事業と制作事業は減収となりましたが、

映像音楽事業、生活情報事業、広告事業、都市開発事業、その他事業が増収となり、全体では増収となりました。営業利益は、放送事業の減収が影響し減益となりました。

本年6月からは、(株)フジ・メディア・ホールディングスと(株)フジテレビジョンの経営体制を分離して、持株会社と事業会社それぞれの果たすべき役割をより明確にし、迅速かつ的確な経営判断を下していくための新体制をとっております。

今後とも、グループ内各社の間での連動やメディアの相互活用を促進し、コンテンツの価値の向上と収益の最大化を目指し、強靭な収益体质を築いてまいります。

何とぞ、当社グループへの倍旧のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成25年12月



代表取締役会長
(Chairman & CEO)

日枝久

代表取締役社長
(President & COO)

太田英昭₁

Contents

	ごあいさつ	1
	太田英昭 社長インタビュー	3
	連結業績ハイライト	5
	グループアウトライン	7
	トピックス	9
	特集	13
	CSR通信 Vol.14	15
	会社概況	16
	株式情報	17

太田英昭社長インタビュー

ソフト・コンテンツを核に新しい事業シナジーを創出、
強靭なメディアグループとして大いなる飛躍を目指してまいります。



平成26年3月期上期の業績の概要をご説明ください。

放送事業におきましては(株)フジテレビジョンがタイム・スポットとも前年同期を下回り、イベント事業や映画事業は好調に推移したものの減収減益となりました。映像音楽事業は増収となりましたが、原価率の上昇で営業利益は減益となりました。一方、生活情報事業は、合併した(株)ディノス・セシールのカタログ通販が好調で増収増益でした。広告事業は(株)クオラスの広告収入が好調で増収増益となりました。都市開発事業の(株)サンケイビルは保有ビル売却により大幅な増収増益となっています。

その結果、連結売上高は前年同期比0.8%増収の3,072億39百万円、営業利益は前年同期比24.1%減益の143億98百万円となりました。



株フジ・メディア・ホールディングスの今後について、
ビジョンを語ってください。

(株)フジ・メディア・ホールディングスの中核となる放送事業では、(株)フジテレビジョンの視聴率回復が喫緊の課題です。10月改編では午後の生番組をドラマ枠に変更、全日視聴率が改善してきました。ゴールデン・プライムも10月改編によって徐々に改善の兆しが見えています。首位奪還に向け、全力で取り組んでまいります。成長分野であるデジタル事業はさらに強化します。映像配信事業はスマートフォンやタブレットの伸びによる需要を取り込み成長を図ります。また、番組運動ゲームの開発を始めとした自社製作ゲームの新たな展開にも注力してまいります。

生活情報事業では、(株)ディノス・セシールで、商品や企画の共同開発や業務の効率化に努め、収益の向上を目指します。映像音楽事業では、「進撃の巨人」で開拓した包括的なビジネスを広げていきます。その他のセグメントにおいても各社の課題の精査を進め、グループ全体の収益



代表取締役社長
(President & COO)

太田英昭

拡大に努めてまいります。

さらに、新規事業の開拓によるビジネス機会の拡大については、ベンチャーキャピタルの(株)フジ・スタートアップ・ベンチャーズが放送事業と親和性の高い5社への出資を実施しております。また、海外市場に向けた新規事業として、エフ・アイ・メディア企画(株)が、音楽著作権やテレビ通販分野におけるアジアでの新たなビジネス開拓に取り組んでいます。

2020年東京オリンピックの開催で注目される臨海地区における「東京D A I B A · M I C E / I R 国際観光戦略特区」事業は、政府の国家戦略特区募集にも提案を行い、台場に位置する当社の立地を最大限に生かして具体的な事業の検討を進めてまいります。

グループ全体の成長に向けて積極的にチャレンジしていくことで、株主の皆様のご期待に応えてまいる所存です。

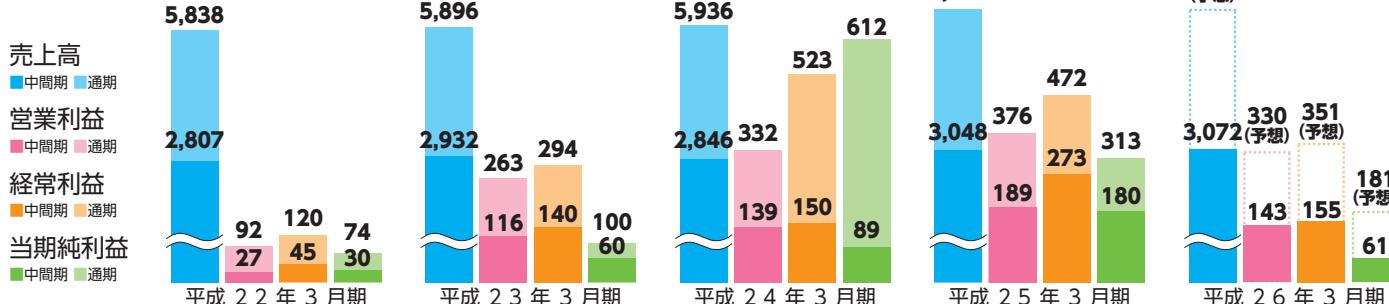
連結業績ハイライト

当社の財務情報はホームページでもご覧いただけます。

フジ・メディア・ホールディングス

検索

売上高／営業利益／経常利益／当期純利益の推移 (単位: 億円)



売上高について

放送事業、制作事業で減収となったが、映像音楽事業、都市開発事業などが増収となり、売上高全体では増収

- 放送事業は、フジテレビにおいてイベントは好調だったが、スポット広告を始めとする放送収入が減収となり、売上高全体では減収
- 映像音楽事業は、アニメ等のDVDがヒットし増収
- 生活情報事業は、カタログ通販が堅調に推移し増収
- 都市開発事業は、所有ビルの売却により増収

損益について

営業利益をはじめとする各利益とも減益

- 営業利益は、広告事業が黒字に転換、都市開発事業、その他事業も増益となったが、放送事業の減収が影響し全体では減益
- 経常利益、当期純利益は前年度の関西テレビの負ののれん発生益(68億円)の反動により減益

業績データ (億円)	平成22年3月期		平成23年3月期		平成24年3月期		平成25年3月期		平成26年3月期	
	中間期	通期	中間期	通期	中間期	通期	中間期	通期	中間期	通期 (予想)
売上高	2,807	5,838	2,932	5,896	2,846	5,936	3,048	6,320	3,072	6,326
営業利益	27	92	116	263	139	332	189	376	143	330
売上高営業利益率 (%)	1.0	1.6	4.0	4.5	4.9	5.6	6.2	6.0	4.7	5.2
経常利益	45	120	140	294	150	523	273	472	155	351
当期純利益	30	74	60	100	89	612	180	313	61	181
財務データ (億円)										
総資産	7,237	7,531	7,384	7,237	7,304	9,535	9,496	9,523	9,803	
流動資産	3,113	3,446	3,463	3,451	3,552	3,662	3,620	3,416	3,510	
固定資産	4,123	4,085	3,921	3,786	3,751	5,873	5,875	6,106	6,292	
負債	2,620	2,890	2,795	2,621	2,511	4,190	4,081	3,841	3,962	
流動負債	1,394	1,558	1,479	1,298	1,213	2,029	1,911	1,608	1,668	
固定負債	1,225	1,331	1,316	1,323	1,297	2,160	2,170	2,232	2,293	
純資産	4,617	4,641	4,588	4,616	4,792	5,345	5,415	5,682	5,840	
キャッシュ・フロー (億円)										
営業活動によるキャッシュ・フロー	27	186	236	576	110	392	224	457	152	
投資活動によるキャッシュ・フロー	△27	△308	△515	△1,037	△45	△158	△122	△136	△266	
財務活動によるキャッシュ・フロー	7	253	△99	△333	△29	△53	△112	△433	40	
現金及び現金同等物の残高	1,179	1,280	900	481	582	727	717	618	553	
1株当たりデータ (円)										
1株当たり当期純利益	1,312.82	3,238.69	2,640.63	4,342.98	3,842.05	26,138.30	77.68	135.09	26.75	78.14
1株当たり純資産	197,829.43	199,432.99	197,216.11	198,377.85	202,607.77	226,290.92	2,317.46	2,431.77	2,500.19	
1株当たり配当金	800.00	800.00	800.00	1,000.00	800.00	2,800.00	2,200.00	2,200.00	2,200.00	22.00

*1 平成25年10月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し金額を算定しております。

*2 通期の1株当たり当期純利益及び配当金の予想数値については、株式分割後の数字です。

グループアウトライン

認定放送持株会社(株)フジ・メディア・ホールディングスのグループは、7グループ21社の中核子会社で構成されています。(株)フジ・メディア・ホールディングスは事業面で緊密な関係を有する関連会社をはじめ、フジサンケイグループ各社と事業・文化活動においてさらに連携を強めてまいります。

当中間期のセグメント別売上高構成比(%)



*このグラフの各売上高は、セグメント間の内部売上高(361億5,200万円)を含む数字です。



重要な子会社の業績(単位:百万円)

フジテレビジョン		ニッポン放送		ポニーキャニオン		ディノス・セシール		サンケイビル	
前中間期	当中間期	前中間期	当中間期	前中間期	当中間期	前中間期	当中間期	前中間期	当中間期
売上高	164,295	161,075	8,039	7,277	21,765	23,575	54,000	54,280	12,026
営業利益	13,370	8,167	256	228	814	382	1	110	2,093
経常利益	13,615	8,186	336	239	887	558	25	153	1,599
当期純利益	8,010	4,050	317	185	507	318	△2,712	121	991

関連会社

(株)産業経済新聞社、(株)フジランド、(株)スタジオアルタ 他

*1(株)ハサテレビおよび(株)フジライティング・アンド・テクノロジーの2社は、平成25年7月1日に合併し、(株)フジ・メディア・テクノロジーとなりました。

*2(株)フジ・ダイレクト・マーケティング、(株)ディノスおよび(株)セシールの3社は、平成25年7月1日に合併し、(株)ディノス・セシールとなりました。

*3平成25年7月の合併前は、(株)ディノス、(株)セシール、(株)フジ・ダイレクト・マーケティングの合計額となります。

 番組 「5539 フジテレビ」

来年の3月1日に開局55周年を迎えるフジテレビは、この秋より55周年イヤーをスタート。視聴者の皆様への感謝と、これからの中未来に向かって前進していく意気込みをこめて「5539フジテレビ」キャンペーンを開始いたしました。

10月改編は水曜22時「リーガルハイ」初回視聴率21.1%を筆頭に、月曜21時「海の上の診療所」、火曜21時「ミス・パイロット」、木曜22時「独身貴族」など、連続ドラマが好発進！ バラエティも水曜20時「世界行ってみたらホントはこんなトコだった！」、日曜20時「教訓のススメ」と、斬新な企画が登場しました。23時台のバラエティは「テラスハウス」が金曜から月曜に、「クイズ・ソモサン ⇄セッパ！」が金曜に移動しスケールアップ、フジテレビらしい尖がった企画で若い世代のニーズに応えます。またスポーツでは、「全日本フィギュア」「ソチ五輪」「世界フィギュア」と今や国民的スポーツとなったフィギュアスケートを中継予定。

55周年にふさわしい大型企画も続々登場！ フジテレビにご期待下さい！



55年目、目の色 変えます。フジテレビ



「リーガルハイ」



「世界行ってみたら
ホントはこんなトコだった！」

9

 映画 2013年のフジテレビ映画に
世界も注目！



「真夏の方程式」
©2013 フジテレビジョン
アミューズ 文藝春秋 FNS27社



「そして父になる」
©2013 「そして父になる」製作委員会

今年のフジテレビ映画は、6月公開「真夏の方程式」(興行収入32.6億円)、8月公開「映画 謎解きはディナーのあとで」(32.1億円)、更に9月公開「そして父になる」(29億円)が大ヒットを記録し、邦画実写映画ランキング1、2、3位を独占しました。「そして父になる」は興行の成功に加えて、第66回カンヌ映画祭審査員賞受賞やS・スピルバーグによるリメイク権の獲得など、その優れた作品性が海外でも高く評価されて、国内外の映画界の話題を独占しました。(※数字はいずれも11月5日現在)

 事業 圧巻ステージイベント＆オリジナル企画展示イベントがヒット！



「MJ ザ・イモータル ワールドツアー」
©2011 Cirque Jackson IP, LLC
Photo: OSA Images Costumes: Zaldy Goco



国立科学博物館 特別展
「グレートジャーニー 人類の旅」

シルク・ドゥ・ソレイユとマイケル・ジャクソン、夢のコラボ！『MJ ザ・イモータル ワールドツアー』が日本初上陸、全国5会場で30万人を動員しました。また、実物大の恐竜による迫力満点のアリーナショー『ウォーキング・ウィズ・ダイナソー』は全国6会場で27万人を動員、草彅剛と堀北真希出演の舞台『二都物語』は大きな話題を呼びました。また、フジテレビ制作のドキュメンタリー『グレートジャーニー』、イギリス発の特撮TV番組『サンダーバード』をテーマとしたオリジナル企画展はいずれも好評を博しました。そして来年2月、シルク・ドゥ・ソレイユ日本公演最新作『オーヴォ』が東京・お台場で開幕します。

トピックス

ニッポン放送 (株)ニッポン放送

4月から新しいパーソナリティを続々起用

平日の夜10時から放送の「オールナイトニッポンGOLD」には、水曜日にタレント・エッセイストとして活躍中の小島慶子が登場。心から「オールナイトニッポン」を愛する「ラジオの女王」がついにレギュラー出演を果たすことに。深夜1時からの「オールナイトニッポン」では、昨年4月に「オールナイトニッポン0 (ZERO)」でラジオパーソナリティとしてデビューした久保ミツロウ・能町みね子のコンビが晴れて火曜日の1部に「昇格」、さらに水曜日にはお笑いコンビ「ダイノジョ」の大谷ノブ彦を抜擢しました。また、深夜3時からの「オールナイトニッポン0 (ZERO)」は、全5曜日にアーティスト・お笑い芸人・評論家など多彩な新しいパーソナリティを起用し、フレッシュな陣容となりました。

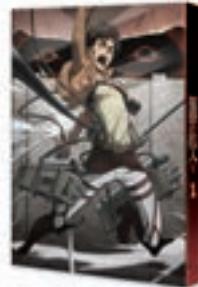


久保ミツロウ・能町みね子

PONYCANYON (株) ポニーキャニオン

「進撃の巨人」「ワンピース」Sexy Zoneなどが牽引

今期のアニメ部門は「進撃の巨人」が大反響を得て、音楽や関連商品を含めて「快進撃」。また、「たまこまーけっと」「Free!」などがヒットしました。音楽部門では、「進撃の巨人」主題歌、aiko15周年記念「15」や「ジャニーズ感謝祭」「Sexy Zoneツアー2013」などの音楽ビデオがヒット。映画部門では「ONE PIECE FILM Z」「踊る大捜査線 THE FINAL」のビデオが貢献しました。映像部門では、「武神」「紳士の品格」など韓流ドラマ、フジテレビドラマ「ラストホープ」「PRICELESS」「最高の離婚」が好調な中、オリジナルビデオ「ふなっしーふなのみくす」がヒットしました。今後は、アニメ関連書籍の出版にも事業を拡げていきます。



「進撃の巨人」
ブルーレイディスク

株式会社 ディノス・セシール (株)ディノス・セシール

7月の合併で1,000億円超の通販企業に

ディノス事業はファッション部門を中心に好調に推移。セシール事業では新たに9月よりファッションブランド『イメージ』を開始。合併による拠点統合等のコスト削減のみならず、これまで以上のシナジー効果を創出します。

ディノス事業は、カタログ通販、テレビ通販とも好調に推移しました。カタログ通販では、ファッション部門が、「DAMA collection (ダーマ・コレクション)」を中心に前期を大幅に上回り、業績を牽引しました。単品では、昨年9月発売の「シェイプビート コア5000」(税込価格:88,000円)が、テレビ通販の好調を受けて、発売から約1年間で累計24,000台を突破、ベストセラーアイテムとなっています。

新たな取り組みとしては、今年で販売18年目を迎える人気の「魚沼産こしひかり」が、新米の美味しさを通年保つ、こだわりの貯蔵方法「雪室貯蔵」を採用し、産地精米・産地直送でのお届けを開始します。



ダーマ・コレクション
2013冬号

セシール事業ではファッションブランド『IMAGE (イメージ)』が加わり、9月より運営を開始しました。同ブランドでは、20代から30代前半の女性(F1層)をターゲットとし、ファッション通販マガジン「イメージコレクション」とびイメージネット(<http://www.st-image.com>)を通じて、アパレルを中心に、バッグやパンプスなどの服飾雑貨、インナーウェアなど、幅広いアイテムを展開しています。

セシールでは、これまで40代から50代の女性がメインターゲットでしたが、イメージの取り扱いを通じて、新たにF1層向け事業の開発も進めています。



イメージコレクション
2013冬号

11

その他の各社のトピックス

BSフジ (株)ビースエフジ

1社提供の新番組で増収、番組ソフトへの積極投資

定評の「プライムニュース」の他、新番組も続々スタート。10月から、フジテレビの伝説の歌番組「ザ・スター」が、32年ぶりに甦ります。その名も「ザ・スターリバイバル」。今もなお輝き続ける昭和の大スターたちの、昔と現在の歌声をじっくりとお届けします！

扶桑社 (株)扶桑社

4期連続黒字に手ごたえ！

フジテレビ関連書籍『サザエさんと日本を旅しよう』、ニッポン放送関連書籍『ももクロくらぶxoxo公式ブック ラーブろん・ら・ぱるとー！』などのグループ連動本や扶桑社新書『嘘だらけの日中近現代史』などがヒットし増収増益で折り返すことができました。



分譲マンション
「ルフロン白金台 ザ・タワーレジデンス」
モデルルーム

12



フジテレビから誕生した ウェディングプロデュース会社「ストーリア」

“Storia”はイタリア語で「歴史・物語」の意味。“結婚するふたりにとって一生の思い出となる素敵な物語を一緒に創り上げていきたい。ふたりの歴史の1ページ目を最高のものとしたい”という想いが込められています。



フジテレビでしか叶えられない夢のウェディング

テレビ番組もウェディングも、感動を創出するエンターテインメントという意味では、どちらも同じ“作品”です。企画制作・演出・メイク・衣裳・美術・音楽・映像記録など、ウェディングにとって重要な要素は、全て番組制作と共通するものばかり。テレビ番組制作で培ったノウハウをウェディングプロデュースに活かすことにより、上質で美しい感動の瞬間と永遠の記憶を創り上げます。



株式会社ストーリア
代表取締役社長
杉尾 敦弘

13



NEWS! 「パラツォ・ドゥカーレ麻布」 2014年9月グランドオープン!

外観(イメージ)



バンケット(イメージ)



大好評の「南青山サンタキアラ教会」に続き、「パラツォ・ドゥカーレ麻布」がオープンします。六本木駅徒歩2分、都会の中心で緑溢れるリゾートウェディングが叶えられるゲストハウスです。

2013年9月より予約受付サロンを東京ミッドタウンに開設、同時にドレスブランド「La Virago」を立ち上げました。上質なインポートドレス、オーダーメイドタキシードをラインナップし、本物を知る大人のウェディングに華を添えます。

日本一の富士山の麓に日本面白いサービスエリア 「めちゃイケSA×EXPASA足柄」が誕生!



2012年・13年の「お台場合衆国」で、自動車が存在しない“模擬(=なんちゃって) SA”として人気を博した「めちゃイケSA」が、NEXCO中日本とのコラボにより、9月14日から東名高速道路にある本物のサービスエリア、EXPASA足柄(下り)に進出! 合衆国で大人気だった「ガリタ食堂」は巨大で激ウマなフードメニューが揃った“G級グルメパーク”に進化! 他では手に入らない足柄限定グッズや巨大モニュメントも出迎える日本面白いSAとして期間限定で営業中!



14

世界文化賞授賞式 25周年の節目の年 フランシス・フォード・コッポラさんらに栄誉

優れた芸術の世界的な創造者たちを顕彰する「高松宮殿下記念世界文化賞」(主催・公益財団法人日本美術協会=総裁・常陸宮殿下)の第25回授賞式典が10月16日、明治記念館で行われ、ハリウッド映画の巨匠監督、フランシス・フォード・コッポラさんら5人に常陸宮殿下から顕彰メダルが授与されました。授賞式に先立ち、賞の創設25周年を記念した天皇、皇后両陛下ご臨席のレセプションもホテルオーネクラ東京で開かれました。フジ・メディア・ホールディングスは世界文化賞の趣旨に賛同し支援を続けています。



会社概況 (平成25年9月30日現在)

会社概要

会社名	株式会社フジ・メディア・ホールディングス (FUJI MEDIA HOLDINGS, INC.)
事業内容	認定放送持株会社
事設立	昭和32(1957)年11月18日
決算期	3月31日
資本金	1,462億35万円
連結従業員数	6,020名
本社	〒137-8088 東京都港区台場二丁目4番8号

役員

お台場をキレイに！
グループ全社で楽しく清掃活動！

当社グループでは、全社共通のCSR活動として年に3回、合同清掃活動を行っています。毎回60人以上が参加し、10月の清掃活動では、70リットルの袋19個分のゴミを回収しました!お台場にお越しの方に気持ち良く過ごしていただけ るよう、今後も継続していきます。

また、フジテレビを中心に行っている「ずっとおうえん。プロジェクト」では、東日本大震災被災3県の復興支援活動を続けています。これまでに約110ヶ所でイベントを行い、のべ11,000人以上に笑顔を届けました（10月末現在）。こちらもグループで協力しあいながら継続していく予定です。



すっかり定着した合同清掃活動

「楽しくなければお台場じゃない！
冒險しなけりや夏じゃない！」



AKB48



居酒屋えぐざいるPARK

今年の合衆国は「楽しくなければ…」をテーマに原点回帰を目指し、5周年にちなんだ「五大新企画」を次々に打ち立てました。そのひとつ「555人の有名人に会えるプロジェクト」の象徴として、AKB48がイメージキャラクターに就任し、合計8回の合衆国スタジアムライブは全て満員御礼でした。さらに、超目玉企画としてEXILEと完全コラボした「居酒屋えぐざいるPARK」は、会期中行列が絶えることなく、22万人以上のお客様が来場して、アンケート調査でも「めちゃイケSA」に続く人気企画となりました。昨年以上に番組連動を徹底した結果、420万人を超える方々にご来場頂き、大成功となりました。

株式の状況

発行済株式の総数	2,364,298株
(発行可能株式総数	9,000,000株)
株主数	57,152名
(注1)発行済株式の総数には自己株式及び放送法に基づき名義書換を拒否した株式(外国人持株調整株式)が含まれております。	
(注2)平成25年10月1日付で普通株式1株を100株に分割しております。	

大株主

株主名	持株数(株)	比率(%)
東宝株式会社	185,721	7.86
日本マスター・トラスト信託銀行株式会社(信託口)	135,378	5.73
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	115,457	4.88
株式会社文化放送	77,920	3.30
株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモ	77,000	3.26
関西テレビ放送株式会社	61,461	2.60
スタートストリートバンク アンド トラストカンパニー 50223	48,994	2.07
日本マスター・トラスト信託銀行株式会社 (退職給付信託口・株式会社電通口)	46,500	1.97
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	41,522	1.76
株式会社ヤカルト本社	39,690	1.68

所有者別株式分布状況

株主数

政府及び地方公共団体	0名	(0.0%)
金融機関	78名	(0.1%)
金融商品取引業者	26名	(0.0%)
その他の法人	435名	(0.8%)
外国法人等	460名	(0.8%)
個人その他	56,153名	(98.3%)

株式数

政府及び地方公共団体	0株	(0.0%)
金融機関	551,925株	(23.3%)
金融商品取引業者	70,150株	(3.0%)
その他の法人	721,204株	(30.5%) (注1)
外国法人等	468,389株	(19.8%) (注2)
個人その他	552,630株	(23.4%) (注3)

(注1)「その他の法人」には、証券保管振替機構名義の株式が402株含まれております。
 (注2)放送法で定める外国人等の有する議決権数の当社議決権総数に占める割合は19.99%です。
 (注3)「個人その他」には、自己株式22,352株及び放送法に基づき名義書換を拒否した株式(外国人持株調整株式)241,120株が含まれております。
 (注4)比率は小数第2位を四捨五入しております。

株主メモ

4月1日～3月31日

3月31日及び中間配当を行う場合は9月30日

6月下旬

東京都中央区八重洲1丁目2番1号

みずほ信託銀行株式会社

東京都中央区八重洲1丁目2番1号

みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部

産業経済新聞に掲載します。

外国人等の株主名簿への記載・記録の制限等

当社は、放送法で定める外国人等(①日本の国籍を有しない人、②外国政府又はその代表者、③外国の法人又は団体、④「①から③までに掲げる者」により直接に占められる議決権の割合が総務省令で定める割合以上である法人又は団体)の有する議決権について、①から③までに掲げる者により直接に占められる議決権の割合とこれらの者により④に掲げる者を通じて間接に占められる議決権の割合として総務省令で定める割合とを合計した割合が、議決権の20%以上となる場合には、放送法の規定により、認定放送持株会社の認定が取り消されることになります。そのため、このような状態に至るときには、放送法の規定に基づき、外国人等からの株式の名義書換請求等による株主名簿への記載・記録を拒否し、又は、外国人等の議決権行使を制限することができるとされています。

お知らせ

●配当金計算書について

1. 配当金を配当金領収証にてお受取りの株主様へ

平成25年にお支払いした配当金(平成25年3月末期配当及び同9月中間配当)について確定申告を行なう場合は、配当金領収証に同封いたしました「配当金計算書」が添付書類となります。
 注)「配当金計算書」は、租税特別措置法上の「支払通知書」を兼ねた書類ですので、確定申告の際にご利用いただけます。

2. 配当金の受取方法として、口座振込を指定されている株主様へ

同様に確定申告を行なう場合は、同封の「配当金計算書」が添付書類となります。

3. 配当金の受取方法として、証券会社にて「株式数比例配分方式」を利用されている株主様へ

確定申告を行なう際の添付書類等につきましては、お手数ですがお取引の証券会社にお問合せください。

株式に関するお手続

●株式に関する各種お手続(住所変更、配当金受領方法の指定など)は、株主様が口座を開設されている証券会社にてお取扱いしております。詳しくは、お取引の証券会社にお問合せください(ただし、郵送物等の発送と返戻に関するご照会と株式事務に関する一般的なお問合せは、株主名簿管理人:後掲のフリーダイヤルにお問合せください)。

●株券電子化実施前に証券保管振替制度を利用されていなかった株主様の株式につきましては、「特別口座」で管理しております。「特別口座」に関する各種お手続(証券会社の口座への振替、住所変更、配当金受領方法の指定など)は、みずほ信託銀行株式会社本・支店及びみずほ証券株式会社本・支店・営業所にて受け付けます。

なお、「特別口座」の詳細につきましては、次のフリーダイヤルにお問合せください。

みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 ☎ 0120-288-324 (土・日・祝日を除く9:00～17:00)

●払渡し期間経過後の配当金領収証(いわゆる「末払配当金」にかかる領収証)をお持ちの株主様は、配当金領収証に押印のうえ同領収証裏面に記載の送付先にお送りいただくか、次の場所に配当金領収証をお持ちください。

●みずほ信託銀行株式会社本・支店

●株式会社みずほ銀行本・支店

●みずほ証券株式会社本・支店・営業所